

平成28年度 消火競技会

火災発生時の初期消火や消火技術を向上するため、6月8日、那須塩原市那珂川河畔運動公園で消火競技会が開催されました。

競技は、二人一組となり燃焼皿で燃え上がる炎を消火し、負傷者を搬送するまでの時間と、その動作の正確性を競うものです。

那須地区消防組合管内の2市1町から男性の部、女性の部ともに19チームが参加し、那須町から出場したチームが男性の部優勝、女性の部準優勝を果たしました。



男性の部優勝 大野達也さん・平山直道さん(那須町役場)



女性の部準優勝 斎藤光子さん・石川美和子さん(那須町婦人防火クラブ黒田原地区)

感謝の気持ちを込めた 田植え体験



6月15日、学びの森小学校として初めての田植えがあり、長寿会や高年会など地域の方々のご協力のもと全校児童128人が田植えを体験しました。

JA職員から苗の植え方を習い、児童は早速田んぼの中へ。あちこちで歓声があがり、泥の感触を楽しみながら夢中で約20畝の田んぼに苗を植え終わりました。「泥が気持ちよかった」「楽しかった」と、児童たちは満足した笑顔。秋には地域の方々への感謝の気持ちが込められたお米を収穫し、餅をついて食べるのが楽しみです。

歌枕の地へようこそ 芦野で田植え祭り・全国俳句大会を開催

芦野の遊行柳付近で6月12日、田植え祭りがありました。昔ながらの農耕馬が子連れで代かきを行い、紺姿の早乙女が田植え歌に合わせて田植えをしました。田植えに参加した東陽小1年の渡邊珠希ちゃん(6)は「泥がムニユムニユして気持ちよかった」と話していました。

また、同日芦野基幹集落センターで開かれた第35回柳まつり全国俳句大会には95人が参加し、席題に190句の投げがありました。町長賞は、神奈川県藤沢市の宇留野義彦氏の「貝風鈴吊るして島の何でも屋」が受賞しました。



イベント情報

7月～8月

那須町の無形民俗文化財 半俵の寒念仏

源義経、弁慶ら主従12名が源頼朝の追討を逃れて奥州へ下る途中、阿久戸の岩穴で一夜を明かした縁で、その霊を弔うために生まれた寒念仏といわれています。

現在は、悪疫防除、五穀豊穡、家内安全等の祈願を込めて、夏の土用と冬の小寒に地元の愛宕神社に奉納されます。

- ▼日時 7月19日(火)午後1時～
- ▼場所 半俵公民館
- ▼問合せ 那須歴史探訪館 ☎7007

